

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-142770

(43)Date of publication of application : 25.05.2001

(51)Int.Cl.

G06F 12/00

G06F 13/00

G06F 15/00

(21)Application number : 11-325146

(71)Applicant :
ISHIDA YASUKI
TOMATSU KEIJI

(22)Date of filing : 16.11.1999

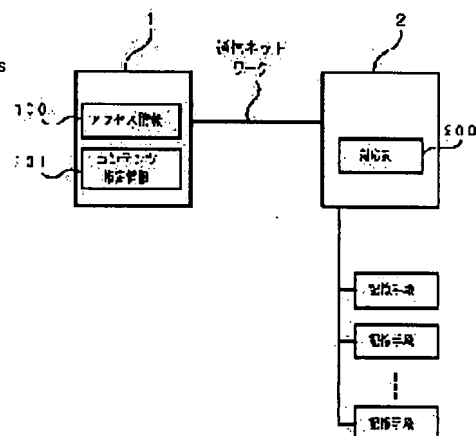
(72)Inventor :
ISHIDA YASUKI
TOMATSU KEIJI

(54) SYSTEM AND METHOD FOR PROCESSING INFORMATION AND RECORDING MEDIUM RECORDING INFORMATION PROCESSING PROGRAM TO BE OPERATED ON COMPUTER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide information processing technique by which a user easily performs access to the Web page of an information supply destination without being conscious of an URL or a connection environment.

SOLUTION: An information processing system is constituted by providing at least a first information processor and a second information processor which are constituted to be connected via a network. The first information processor stores access information and contents designating information to the second processor, is automatically connected to the second processor via the network based on access information and transmits contents designating information to the second processor. The second information processor selects a prescribed storage means based on contents designating information and transmits information which is stored in the selected storage means to the first processor.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 17.11.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 07.03.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Japanese Laid-Open Patent Application NO. 2001-142770.

[0050] Furthermore, configuration may be designed such that two or more URL of the second information processing apparatus are recorded in the above-mentioned storage media, allowing the user to select on the above-mentioned web page. In this case, the second information processing apparatus is accessed based on a URL selected by the user and so on (a process on the second information processing apparatus side). In step 1 shown in FIG. 6, contents-specifying information is received via a communication network, and a storage measure which corresponds with contents-specifying information is selected with reference to a pre-recorded correspondence chart (FIG. 2).

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-142770

(P2001-142770A)

(43) 公開日 平成13年5月25日 (2001.5.25)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マコード [*] (参考)
G 0 6 F 12/00	5 4 6	G 0 6 F 12/00	5 4 6 P 5 B 0 8 2
13/00	3 5 4	13/00	3 5 4 D 5 B 0 8 5
15/00	3 1 0	15/00	3 1 0 A 5 B 0 8 9

審査請求 有 請求項の数10 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平11-325146

(22) 出願日 平成11年11月16日 (1999.11.16)

(71) 出願人 599161328

石田 泰樹

東京都渋谷区渋谷3-6-20 株式会社デ
イー・ティー・ジャパン内

(71) 出願人 593152856

戸松 啓二

愛知県岡崎市竜美台2丁目15-14

(72) 発明者 石田 泰樹

東京都渋谷区渋谷3-6-20 株式会社デ
イー・ティー・ジャパン内

(74) 代理人 100079108

弁理士 稲葉 良幸 (外2名)

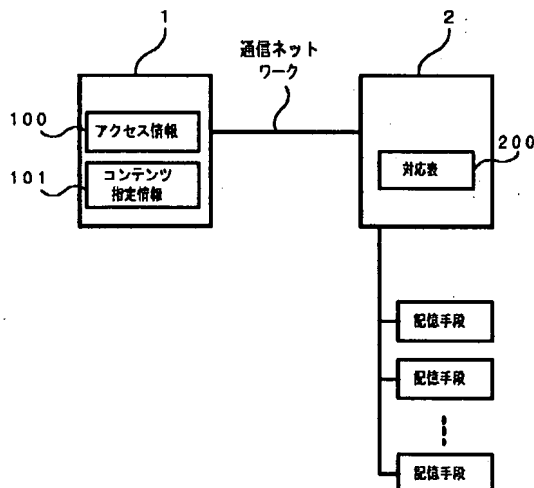
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情報処理システム、情報処理方法およびコンピュータ上で動作する情報処理プログラムを記録した記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 ユーザが容易に、URLや接続環境を意識することなく、情報供給先のWebページにアクセスすることのできる情報処理技術を提供する。

【解決手段】 ネットワークを介して接続可能に構成された第1の情報処理装置と第2の情報処理装置を少なくとも備えた情報処理システムを構成する。第1の情報処理装置は、第2の情報処理装置へのアクセス情報及びコンテンツ指定情報を記憶しており、前記アクセス情報に基づいてネットワークを介して第2の情報処理装置に自動接続して、前記コンテンツ指定情報を第2の情報処理装置へ送信する。第2の情報処理装置は、前記コンテンツ指定情報に基づいて所定の記憶手段を選択し、かかる選択した記憶手段に記憶されている情報を第1の情報処理装置に送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークを介して接続可能に構成された第1の情報処理装置と第2の情報処理装置を少なくとも備えた情報処理システムであって、

第1の情報処理装置は、第2の情報処理装置へのアクセス情報及びコンテンツ指定情報を記憶しており、前記アクセス情報に基づいてネットワークを介して第2の情報処理装置に自動接続して、前記コンテンツ指定情報を第2の情報処理装置へ送信し、

第2の情報処理装置は、前記コンテンツ指定情報に基づいて所定の記憶手段を選択し、かかる選択した記憶手段に記憶されている情報を第1の情報処理装置に送信することを特徴とする情報処理システム。

【請求項2】 第1の情報処理装置は複数のコンテンツ指定情報を記憶しており、外部からの入力に基づいてコンテンツ指定情報を選択し、かかる選択したコンテンツ指定情報を第2の情報処理装置へ送信することを特徴とする請求項1記載の情報処理システム。

【請求項3】 前記アクセス情報は第1の情報処理装置に固有に割り当てられた情報であり、第2の情報処理装置は、前記固有に割り当てられたアクセス情報に基づいて、第1の情報処理装置へ送信可能な情報を所定の範囲に限定することを特徴とする請求項1又は2記載の情報処理システム。

【請求項4】 第2の情報処理装置は、前記所定の記憶手段からネットワークを介して情報を取得することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の情報処理システム。

【請求項5】 第1の情報処理装置は、当該装置に脱装着可能に構成されている、当該装置により読み出し可能な記憶媒体を備えており、前記記憶媒体には、前記アクセス情報又はコンテンツ指定情報のうち、少なくともいずれかの情報が記憶されていることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の情報処理システム。

【請求項6】 第1の情報処理装置において、第1の情報処理装置が備えるネットワークへの接続環境を検査し、通信を行うための最適な設定を行うステップと、第1の情報処理装置において、予め記憶しているアクセス情報に基づいてネットワークを介して第2の情報処理装置に自動接続し、予め記憶しているコンテンツ指定情報を第2の情報処理装置へ送信するステップと、第2の情報処理装置において、受信したコンテンツ指定情報に基づいて所定の記憶手段を選択するステップと、第2の情報処理装置において、前記選択した記憶手段に記憶されている情報を第1の情報処理装置に送信するステップと、を備えたことを特徴とする情報処理方法。

【請求項7】 前記コンテンツ指定情報を第2の情報処理装置へ送信するステップは、第1の情報処理装置において、予め記憶しているアクセ

ス情報に基づいてネットワークを介して第2の情報処理装置に自動接続し、予め記憶している複数のコンテンツ指定情報のうち、外部からの入力に基づいて所定のコンテンツ指定情報を選択し、かかる選択したコンテンツ指定情報を第2の情報処理装置へ送信するステップであることを特徴とする請求項6記載の情報処理方法。

【請求項8】 第1の情報処理装置において、第1の情報処理装置が備えるネットワークへの接続環境を検査し、通信を行うための最適な設定を行うステップと、第1の情報処理装置において、予め記憶しているアクセス情報に基づいてネットワークを介して第2の情報処理装置に自動接続し、予め記憶しているコンテンツ指定情報を第2の情報処理装置へ送信するステップと、を備えることを特徴とする、コンピュータ上で動作する情報処理プログラムを記録した記録媒体。

【請求項9】 前記記憶媒体は、更に、前記アクセス情報又は前記コンテンツ指定情報のうち、いずれかを記憶していることを特徴とする請求項8記載の記憶媒体。

【請求項10】 少なくとも1つの情報処理手段と請求項8又は9記載の記憶媒体とを備えた情報処理システムであって、前記記憶媒体に記録された情報処理プログラムを外部の情報処理装置で実行することにより、前記外部の情報処理装置は、前記記憶媒体に記憶されたアクセス情報に基づいてネットワークを介して前記情報処理手段に自動接続して、前記コンテンツ指定情報を前記情報処理手段へ送信し、前記情報処理手段は、前記コンテンツ指定情報に基づいて所定の記憶手段を選択し、かかる選択した記憶手段に記憶されている情報を前記外部の情報処理装置に送信することを特徴とする情報処理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、ネットワークを介して情報を送受信する情報処理システムに関し、特にネットワーク上に存在する情報を効率よく取得／供給するための改良技術に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来インターネットといえば、電子メールとNetNewsという利用形態が中心であったが、現在ではグラフィカルに情報を参照できるWWWが中心的な利用形態の1つになっている。ユーザは、世界中に存在するWWWで提供されるWebページにアクセスし、ユーザの望む情報を自由に得ることができる。例えば、ユーザは、Yahoo、Infoseek、Hole-in-one、Gooといった検索エンジンを利用し、ユーザが入力したキーワードを含むWebページを検索することができる。

【0003】 Webページは、URL (Uniform Resource Locator) と呼ばれるアドレスにより識別される。URLは、インターネット上のWebページのロケーション

ンを指し示す記述様式であり、スキーム名、サーバ名、パス名等を記述した英数字列からなる。

【0004】WWWにおいては、ドキュメントの記述には、通常HTML (HyperText Markup Language) と呼ばれるマークアップ言語を使用する。あるHTML文書と他のHTML文書をリンクするには、リンク先のURLを文書中の文字列とともに記述する。WWWのドキュメントとしては、文字はもちろんのこと、静止画 (GIFファイルなど) や音声、動画など、様々なデータを提供することが可能である。

【0005】HTML文書の解釈はブラウザソフトによって行われ、HTML文書中に記述されたタグに基づいて表示がなされる。このようなブラウザソフトとしては、IE (Internet Explorer) や、Netscapeなどが主要なものとして知られている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 今日では、インターネット上に設けられたアクセス可能なWebページの数是指数的に増加しており、ユーザにとって必要な情報に効率よくたどり着くのは容易ではなくなっている。希望する情報を有するWebページのURLを知らない場合、そのWebページにたどり着くためには、リンクが貼ってある別のWebページからたどるか、検索ページを利用して検索することになるが、前者においてはその別のWebページを探す必要があるため結局容易でなく、後者においては検索ページの操作・入力規則を習得しなければならないという問題がある。

【0007】このような問題は、URLの表記や検索ノウハウのないインターネット利用の初心者にとっては特に顕著である。更に、初心者にとっては、そもそもインターネットへの接続環境を整える (例えば、接続プログラムやブラウザソフトのインストール・パラメータ設定など) ことからして容易ではないのが通常である。

【0008】一方、Webページにより情報を提供する側からみると、自分のWebページにできるだけ多くのユーザがアクセスしてくれることが望ましいが、同種の (例えば、同じようなキーワードを含む) Webページは数多く存在し得るため、ユーザを確実に自分のWebページに誘導することは容易でないという問題がある。

【0009】ここで、ユーザをWebページに誘導する方法として、バナー広告が知られている。バナー広告は、「旗」のような四角形の広告スペースをWebページに掲載することで、広告としての効果と、バナーをクリックすることによる広告主指定のWebページへのアクセスを促す効果を実現している。

【0010】しかしながら、かかる方法においても、バナー広告が掲載されたWebページまではユーザが自力でたどり着くことを前提としているため、依然として特定のWebページへ直接的に確実に誘導する方法は確立されていない。

【0011】そこで、本発明は、ユーザが容易に (URLや接続環境を意識することなく) 情報供給先のWebページにアクセスすることのできる情報処理技術を提供することを目的とする。

【0012】また、本発明は、情報供給先のWebページに確実にユーザを誘導することのできる情報処理技術を提供することを目的とする。

【0013】

【課題を解決するための手段】 本発明の情報処理システムは、ネットワークを介して接続可能に構成された第1の情報処理装置と第2の情報処理装置を少なくとも備えた情報処理システムであって、第1の情報処理装置は、第2の情報処理装置へのアクセス情報及びコンテンツ指定情報を記憶しており、前記アクセス情報に基づいてネットワークを介して第2の情報処理装置に自動接続して、前記コンテンツ指定情報を第2の情報処理装置へ送信し、第2の情報処理装置は、前記コンテンツ指定情報に基づいて所定の記憶手段を選択し、かかる選択した記憶手段に記憶されている情報を第1の情報処理装置に送信することを特徴とする。前記選択した記憶手段が第2の情報処理装置と通信ネットワークで接続されている場合は、第2の情報処理装置は、通信ネットワークを介して情報を取得する好適には、第1の情報処理装置は、当該装置に脱装着可能に構成されている、当該装置により読み出し可能な記憶媒体を備えており、前記記憶媒体には、前記アクセス情報又はコンテンツ指定情報のうち、少なくともいずれかの情報が記憶されている。

【0014】第1の情報処理装置は複数のコンテンツ指定情報を記憶しており、外部からの入力に基づいてコンテンツ指定情報を選択し、かかる選択したコンテンツ指定情報を第2の情報処理装置へ送信することが望ましい。

【0015】また、前記アクセス情報は第1の情報処理装置に固有に割り当てられた情報であり、第2の情報処理装置は、前記固有に割り当てられたアクセス情報に基づいて、第1の情報処理装置へ送信可能な情報を所定の範囲に限定することが望ましい。

【0016】本発明の情報処理方法は、第1の情報処理装置において、第1の情報処理装置が備えるネットワークへの接続環境を検査し、通信を行うための最適な設定を行うステップと、第1の情報処理装置において、予め記憶しているアクセス情報に基づいてネットワークを介して第2の情報処理装置に自動接続し、予め記憶しているコンテンツ指定情報を第2の情報処理装置へ送信するステップと、第2の情報処理装置において、受信したコンテンツ指定情報に基づいて所定の記憶手段を選択するステップと、第2の情報処理装置において、前記選択した記憶手段に記憶されている情報を第1の情報処理装置に送信するステップと、を備えたことを特徴とする。かかる情報処理方法はコンピュータにより実施することが

できるが、そのためのコンピュータプログラムは、CD-ROM、磁気ディスク、半導体メモリなどの各種の媒体を通じてコンピュータにインストールまたはロードすることができる。

【0017】前記コンテンツ指定情報を第2の情報処理装置へ送信するステップは、第1の情報処理装置において、予め記憶しているアクセス情報に基づいてネットワークを介して第2の情報処理装置に自動接続し、予め記憶している複数のコンテンツ指定情報のうち、外部からの入力に基づいて所定のコンテンツ指定情報を選択し、かかる選択したコンテンツ指定情報を第2の情報処理装置へ送信するステップであることが望ましい。

【0018】本発明の記憶媒体は、第1の情報処理装置において、第1の情報処理装置が備えるネットワークへの接続環境を検査し、通信を行うための最適な設定を行うステップと、第1の情報処理装置において、予め記憶しているアクセス情報に基づいてネットワークを介して第2の情報処理装置に自動接続し、予め記憶しているコンテンツ指定情報を第2の情報処理装置へ送信するステップと、を備えることを特徴とする、コンピュータ上で動作する情報処理プログラムを記録している。

【0019】前記記憶媒体は、更に、前記アクセス情報又は前記コンテンツ指定情報のうち、いずれかを記憶していることが望ましい。

【0020】本発明の情報処理システムは、少なくとも1つの情報処理手段と本発明の記憶媒体とを備えた情報処理システムであって、前記記憶媒体に記録された情報処理プログラムを外部の情報処理装置で実行することにより、前記外部の情報処理装置は、前記記憶媒体に記憶されたアクセス情報に基づいてネットワークを介して前記情報処理手段に自動接続して、前記コンテンツ指定情報を前記情報処理手段へ送信し、前記情報処理手段は、前記コンテンツ指定情報に基づいて所定の記憶手段を選択し、かかる選択した記憶手段に記憶されている情報を前記外部の情報処理装置に送信することを特徴とする。

【0021】

【発明の実施の形態】（第1の実施例）図1を参照して本発明の第1の実施例を説明する。本発明の第1の実施例である情報処理システムは、ネットワークを介して接続可能に構成された第1の情報処理装置1と第2の情報処理装置2を備える。第1の情報処理装置1はユーザが使用する装置、第2の情報処理装置2は情報提供者側が使用する装置に該当する。

【0022】なお、各情報処理装置は、専用装置あるいは汎用のコンピュータのいずれであってもよい。例えば、CPUと入力手段と記憶手段と出力手段とを備えた一般的な構成のコンピュータにおいて、各手段の動作を規定したソフトウェアを起動することにより、本発明における各情報処理装置を実現することができる。なお、前記専用装置又は汎用のコンピュータは、単一のコンピ

ュータにより構成されるものであっても、ネットワーク上に分散した複数のコンピュータにより構成されるものであってもよい。

【0023】第1の情報処理装置1は、第2の情報処理装置2へのアクセス情報100及びコンテンツ指定情報101を記憶している。ここで、アクセス情報100としては例えばURLが考えられる。この場合、第2の情報処理装置2へのアクセス情報100は、第2の情報処理装置2に割り当てられた固有のURLとなる。また、コンテンツ指定情報101は、Webページが有する情報を適切に代表する文字列等を少なくとも含んでいることが望ましい。

【0024】第1の情報処理装置1は、前記アクセス情報100に基づいて通信ネットワークを介して第2の情報処理装置2に自動接続を行う。ここで、自動接続とは、通信ネットワーク（例えばインターネット）上の所定の接続ポイントをコールするとともに、Webページ閲覧ブラウザを立ち上げ、通信ネットワークに接続できた段階でブラウザにより第2の情報処理装置2のURLにアクセスする、といった一連の工程を、ユーザによる入力をいっさい介在させずに行うことを意味する。ユーザによる入力とは、例えば、キーボードやタッチパネル等による入力、OCRやバーコード等による入力、音声等による入力といったものである。

【0025】第1の情報処理装置1は、通信ネットワークを介して第2の情報処理装置2に接続後、前記コンテンツ指定情報101を第2の情報処理装置2へ送信する。

【0026】ここで、コンテンツ指定情報101は、第1の情報処理装置1にただ一つ記憶されるように構成してもよいし、複数記憶されるように構成してもよい。複数のコンテンツ指定情報が記憶されている場合は、例えばユーザがそのうちの一つを選択し、かかる選択されたコンテンツ指定情報を第2の情報処理装置2へ送信する。

【0027】第2の情報処理装置2は、第1の情報処理装置1より送信されたコンテンツ指定情報101に基づいて所定の記憶手段を選択する。ここで、前記所定の記憶手段は、第2の情報処理装置2が備える記憶手段や記憶領域であってもよく、また第2の情報処理装置2とは異なる情報処理装置が備える記憶手段や記憶領域であってもよい。

【0028】第2の情報処理装置2は、例えば図2に示すような対応表200を記憶している。対応表200には、例えば記憶手段を特定するためのアドレス情報やURLが格納されており、かかる対応表200に基づいて、第2の情報処理装置2はコンテンツ指定情報101に対応する記憶手段を選択する。好適には、対応表200は複数の記憶手段に対応していることが望ましい。

【0029】第2の情報処理装置2は、選択した記憶手

段に記憶されている情報を取得し、それを第1の情報処理装置1に送信する。ここで、選択した記憶手段が、第2の情報処理装置2と異なる情報処理装置が備えるものであった場合、通信ネットワークを介して情報を取得することになる。

【0030】このように、ユーザ側の装置である第1の情報処理装置は、第1の情報処理装置に記憶されたアドレス情報に基づいて、自動的に第2の情報処理装置に通信ネットワークを介して接続されるため、ユーザは第2の情報処理装置のURL等を知らなくても第2の情報処理装置にアクセスすることができる。

【0031】また、情報提供者側は、ユーザが第1の情報処理装置を使用する限り、必ず第2の情報処理装置に接続されるため、そのユーザを確実に第2の情報処理装置を通じて提供されるWebページに誘導することができる。

【0032】更に、ユーザ側の装置である第1の譲歩処理装置には、Webページに対応する記憶手段のURL等の情報が直接記憶されているのではなく、コンテンツ指定情報が記憶されているため、Webページに対応する記憶手段のURL等が変更されたとしても、情報提供者側の装置である第2の情報処理装置に記憶されている対応表を変更すれば足り、第1の情報処理装置については変更する必要がない。すなわち、ユーザ側になんらURL等の変更を意識させることなく柔軟に対応することができる。

(第2の実施例) 本発明の第2の実施例は、第1の実施例と同様に、第1の情報処理装置1と第2の情報処理装置2を備えており、各情報処理装置は第1の実施例と同様に動作する。また、本実施例においては、図3に示すように、アクセス情報100、コンテンツ指定情報101が、第1の情報処理装置1に脱装着可能に構成され、当該装置により読み出し可能な記憶媒体3に記憶されている。

【0033】ここで脱装着可能な記憶媒体としては、CD-ROM、MD、DVD等の光ディスク、MO等の光磁気ディスク、メモリーカード等の半導体メモリなどが考えられる。また、光ディスク等を加工し、図4に示すような変形形状としたものも考えられる。特に、8cmサイズのディスク状のものを図4に示すように加工した場合、通常の名刺より若干小さいサイズになるため、名刺入れなどに格納することが可能となり、携帯性の向上を図ることができる。

【0034】このようにアドレス情報、コンテンツ指定情報を脱装着可能な記憶媒体に記憶するように構成したため、記憶媒体を読み取り可能な汎用の情報処理装置に前記憶媒体を装着することで、汎用の情報処理装置を容易に第1の情報処理装置とすることができる。すなわち、第1の情報処理装置としてわざわざ専用装置を設けることなく、本発明の情報処理システムを実現すること

ができる。

【0035】また、情報提供者側においては、記憶媒体は安価に量産可能であるため、これを量産して多数のユーザに配布することにより、多くのユーザを自分のWebページに誘導することができるようになる。

【0036】ここで、前記憶媒体102に記憶されるアクセス情報100又はコンテンツ指定情報101に、個々の記憶媒体ごとに固有の情報を含ませることにより、第1の情報処理装置へ送信する情報を所定の範囲に制限することができる。

【0037】例えば、アクセス情報100に前記固有の情報が含まれている場合、前記固有の情報に応じて前記憶媒体102ごとに異なる情報処理装置を第2の情報処理装置2として構成することができる。この場合、第1の情報処理装置へ送信する情報は、第2の情報処理装置単位で制限されることになる。

【0038】また、例えば、コンテンツ指定情報101に前記固有の情報が含まれている場合、第2の情報処理装置2において、前記固有の情報に応じて前記憶媒体102ごとに異なる対応表200を使用することができる。もちろん、アクセス情報100、コンテンツ指定情報101の両方に異なる種類の固有の情報を含ませるようにしてもよい。この場合、第1の情報処理装置へ送信する情報は、対応表単位で制限されることになる。

【0039】前記憶媒体3を所有しているユーザのみ第2の情報処理装置2にアクセスできるようにシステムを構築したい場合は、前記固有の情報を、第2の情報処理装置2における認証に用いることができる。この場合、前記憶媒体3が装着されていない情報処理装置から、URL等をユーザが直接入力して第2の情報処理装置2にアクセスしようとしても、前記固有の情報が認証されず、第2の情報処理装置2を通じて提供されるWebページにたどり着くことはできない。従って、前記憶媒体3の所有者による会員制のコミュニティを構築することができる。

【0040】また、前記固有の情報として例えば商取引回数をを用いることで、商取引回数に応じて第1の情報処理装置1に表示されるWebページを異ならせる(もしくはWebページの表示内容の一部を異ならせる)ことができる。このようにすることで、取り引き回数の多いユーザには、例えばディスカウントした価格表を提示するといった差別化を図ることができる。ここでは、前記憶媒体3に商取引回数が直接記憶されているように構成したが、第2の情報処理装置2において前記固有の情報に対応付けて商取引回数を記憶しておき、これを参照して差別化を図るように構成してもよい。

(第3の実施例) 本発明の第3の実施例である記憶媒体は、当該記憶媒体が装着される情報処理装置(以下、「記憶媒体側装置」と呼ぶ。)において、前記憶媒体側装置が備えるネットワークへの接続環境を検査し、通

信を行うための最適な設定を行うステップと、前記憶媒体側装置において、当該記憶媒体に予め記憶しているアクセス情報に基づいてネットワークを介して第2の情報処理装置に自動接続し、当該記憶媒体に予め記憶しているコンテンツ指定情報を第2の情報処理装置へ送信するステップと、を備えるコンピュータ上で動作する情報処理プログラムを記録している。情報処理プログラムは前記録媒体から前記憶媒体側装置に読み込まれることにより、その動作を制御する。

【0041】ここで記憶媒体としては、CD-ROM、MD、DVD等の光ディスク、MO等の光磁気ディスク、メモリーカード等の半導体メモリなどが考えられる。また、光ディスク等を加工し、図4に示すような変形形状としたものも考えられる。特に、8cmサイズのディスク状のものを図4に示すように加工した場合、通常の名刺より若干小さいサイズになるため、名刺入れなどに格納することが可能となり、携帯性の向上を図ることができる。

【0042】次に、前記憶媒体を用いた本発明の情報処理方法について、図5、図6のフローチャートを参照して説明する。図5は記憶媒体側装置における処理の流れを、図6は第2の情報処理装置における処理の流れを示すフローチャートである。

(記憶媒体側装置における処理) まず、準備段階として、ユーザにより前記憶媒体が前記憶媒体側装置に装着される。

【0043】次に、図5に示すステップ1において、前記憶媒体側装置のOS(例えばウィンドウズ95、98など)により前記憶媒体に記録された情報処理プログラムが起動される。かかる情報処理プログラムは、起動時に、所定のオープニング処理(ユーザに対して当該プログラムが開始されたことを知らせる処理)を実行するように作成されている。

【0044】ステップ2において、前情報処理プログラムの制御により、前記憶媒体側装置が備えるネットワークへの接続環境が検査される。検査項目としては、例えば、接続用ハードウェア(モデム、ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど)のドライバソフトがインストールされているか、ダイヤルアップ接続ソフトがインストールされているか、所定のブラウザソフトがインストールされているか、所定のプラグインソフト(マクロメディア社のフラッシュ、シヨップウェア、JavaVM等)がインストールされているか、などが考えられる。かかる検査は、前記憶媒体側装置のOSが有するレジストリ情報をチェックすることにより、実現することができる。

【0045】ステップ3では、前情報処理プログラムの制御により、ステップ2でインストールされていないと判断された項目に応じて、前記憶媒体に記録されているプログラム(各種ドライバソフト、ブラウザソフト、

ト、プラグインソフトなど)を前記憶媒体側装置にインストールする。これにより、前記憶媒体側装置は、通信ネットワークに接続し、Webページを表示するための最適な環境を備えることになる。

【0046】ステップ4では、前情報処理プログラムの制御により、前記憶媒体側装置のOSが再起動される。具体的には、前情報処理プログラムは前記憶媒体側装置のOSに再起動の命令を送り、自らは終了する。

【0047】ステップ5では、再び、前記憶媒体側装置のOSにより前記憶媒体に記録された情報処理プログラムが起動される。かかる情報処理プログラムは、起動時に、前記所定のオープニング処理を実行する。この時、前記憶媒体に記録されているオープニング用Webページをブラウザソフトにより表示するようにしてもよい。

【0048】ステップ6では、前情報処理プログラムの制御により、接続用ハードウェア及びダイヤルアップ接続ソフトを用いて通信ネットワークに接続し、前記憶媒体に記録されている第2の情報処理装置のURL等に基づいて、第2の情報処理装置にアクセスする。そして、前記憶媒体に記録されているコンテンツ指定情報を第2の情報処理装置に送信する。

【0049】ここで、前情報処理プログラムの制御により、前記憶媒体側装置と第2の情報処理装置間の実質的な通信速度を取得し、かかる通信速度情報を第2の情報処理装置に送信するように構成してもよい。

【0050】また、前記憶媒体に第2の情報処理装置のURL等を複数記録しておき、前記オープニング用Webページにおいて、ユーザに選択させるように構成してもよい。この場合、ユーザに選択されたURL等に基づいて、第2の情報処理装置にアクセスすることになる。

(第2の情報処理装置側の処理) 図6に示すステップ1では、通信ネットワークを介してコンテンツ指定情報を受信し、予め記録してある対応表(図2参照)を参照して、コンテンツ指定情報に対応する記憶手段を選択する。

【0051】ここで、前記通信速度情報も受信した場合は、例えば、実質的な通信速度に応じて適切な情報が送信されるように、前記通信速度情報に基づいて記憶手段を選択するようにしてもよい。

【0052】ステップ2では、選択した記憶手段に記憶されているWebページ情報を取得し、それを第1の情報処理装置に送信する。ここで、選択した記憶手段が、第2の情報処理装置と異なる情報処理装置が備えるものであった場合、通信ネットワークを介してWebページ情報を取得することになる。

(変形例) 本発明は上記各実施例に限定されることなく、種々に変形して適用することが可能である。例えば、第2実施例において、第1の情報処理装置をユーザ

所有のパソコン等とする構成も考えられる。この場合、ユーザ所有のパソコン等は外部の情報処理装置に該当し、本発明は記憶媒体及び第2の情報処理装置を備える構成となる。

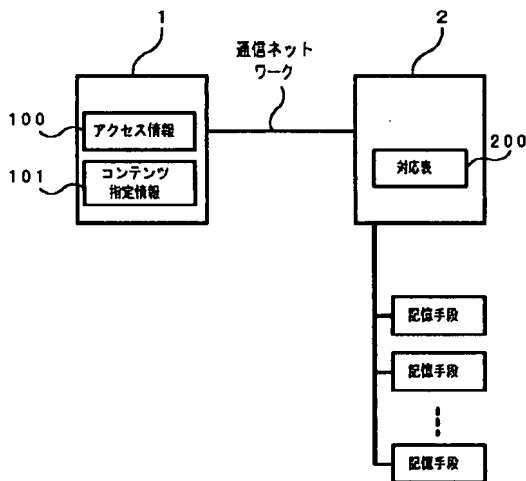
【0053】

【発明の効果】本発明は、第1の情報処理装置、又は記憶媒体に予め第2の情報処理装置のアクセス情報及びコンテンツ指定情報を記憶しておき、前記アクセス情報に基づいて第2の情報処理装置に自動接続し、前記コンテンツ指定情報に基づいて表示するWebページ等の情報を第2の情報処理装置において選択するため、ユーザが容易に（URLや接続環境を意識することなく）情報供給先の情報にアクセスすることができるとともに、情報供給先のWebページ等に確実にユーザを誘導することができる。

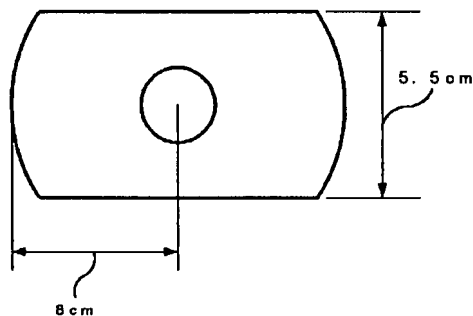
【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の第1の実施例の構成を示すブロック図である。

【図1】



【図4】



*【図2】 第2の情報処理装置において記憶されている対応表の例を示す図である。

【図3】 本発明の第2の実施例の構成を示すブロック図である。

【図4】 本発明の第3の実施例の記憶媒体を示す図である。

【図5】 記憶媒体が装着される装置における処理の流れを表わすフローチャートである。

【図6】 第2の情報処理装置における処理の流れを表わすフローチャートである。

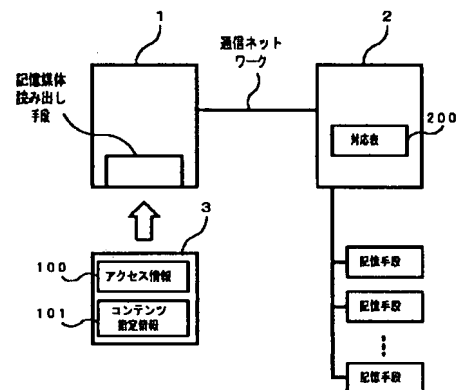
【符号の説明】

- 1 第1の情報処理装置
- 2 第2の情報処理装置
- 3 記憶媒体
- 100 アクセス情報
- 101 コンテンツ指定情報
- 200 対応表

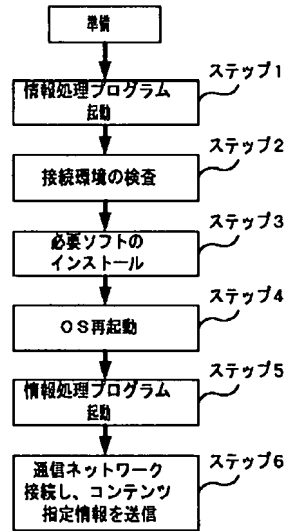
【図2】

コンテンツ指定情報	アドレス情報
アイウ（株）	http://www.aiu
ABC Corp.	http://www.abc
いろはネット	http://www.iro
XYZサービス	http://www.XYZ
〇△産業	http://www.mar

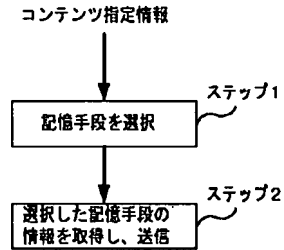
【図3】



【図5】



【図6】



フロントページの続き

(72)発明者 戸松 啓二
愛知県岡崎市竜美台2-15-14 デルター
株式会社内

F ターム(参考) 5B082 FA11 GC04
5B085 BG07 CC17 CE04
5B089 GA11 GA21 GB01 JA22 JA33
JA36 JB22 KA01 KA04 KB04
KC22 KC52 LB25